

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年8月21日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年7月12日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	ポーランド
留学先大学	ポズナン経済大学(日本語名) Poznań University of Economics and Business(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ポーランド語/英語
留学期間	2023年10月～2024年6月
留学先大学で在籍した学年	特になし 年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期:10 月上旬～2 月中旬 2 学期:3 月上旬～6 月下旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	7420 人
創立年	1926 年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (PLN)	日本円	備考
授業料	-	-円	交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舍費	5850	234,000円	一ヶ月:650PLN
食費	2700	108,000円	一ヶ月:300PLN
図書費	-	-円	-
学用品費	-	-円	-
携帯・インターネット費	270	10,800円	一ヶ月:30PLN
現地交通費	400	16,000円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	9000	360,000円	一ヶ月:1000PLN
被服費	250	10,000円	古着がとても安いです!
医療費		円	
保険費		100,000円	形態:大学指定の
渡航旅費		260,000円	一時帰国含む
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		300,000円	留学中に旅した国:europa25カ国
その他		円	
合計		1,388,000円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田 目的地:ワルシャワ 経由地:北京

復路 出発地:カイロ 目的地:羽田 経由地:上海

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社:air china 料金:56,000

復路 航空会社:china eastern 料金:53,000 ∴合計:30万円くらい 一時期国含め

航空券購入方法

旅行代理店(店名:)

インターネット(サイト名:sky scanner)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前:ATOL) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 2人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

大学の紹介

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

価格を抑える、友達を作りたい場合は大学の量が圧倒的おすすめです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特にありません

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

高速のWi-Fiがあるため不便はないです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を作って親に送金してもらうのが手取り早いかも

Revolut を使うのもおすすめ

現地で日本語を教える事業もしていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本でしか手に入らない嵩張らない調味料(カレールー、お茶漬の元、ふりかけなど)

炊飯器を買うのはいちいち面倒なので簡易炊飯釜が重宝した

就活するなら web テストの問題集もおすすめです

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
56 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 未定単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Foreign market entry and growth	国際マーケティング
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とグルディス(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 15 回
担当教授	Piotr Trapczyński
授業内容	
試験・課題等	出席
感想を自由記入	<p>この授業を受けて、外国市場進出戦略の本質を認識すること、主要な動機や外国市場進出戦略の決定要因を特定すること、外国市場進出と成長戦略の分類を説明することなど、多くの目標を達成した。</p> <p>具体的には、ビジネス問題の構造や要素を理解し、適切な技術、方法、分析モデルを適用する方法を学び、チームワークのルールを理解し、口頭および書面で効果的にコミュニケーションする方法を向上させることができた。企業の社会的責任についての理解を深め、倫理的な学術およびビジネスの基準に従うよう努めた。</p> <p>さらに、外国市場進出の動機や決定要因の多様性を指摘し、国際戦略の特異性を説明した。外国市場進出戦略の種類を理解し、拡大する企業にとっての利点と欠点を理解した。戦略的能力が企業の外国市場進出戦略の選択に与える影響を評価し、特定の企業に適した外国市場進出戦略を選択してその選択を正当化する方法を学んだ。また、外部環境が外国市場進出戦略に与える影響を解釈する能力も向上させることができた。</p> <p>チームワークや批判的思考、自己の意見を形成する能力も伸ばし、講義、討論、ケーススタディ、演習などの教育方法を通じて、さまざまな学習内容を習得した。</p> <p>この授業を通じて、国際ビジネスにおける戦略的な考え方や行動の重要性を理解し、実践的なスキルを身につけることができた。また、提供された参考文献や教育方法が授業内容を理解するのに役立てることができた。今後もこの授業で学んだ知識やスキルを活かして、国際ビジネスの分野で活躍していきたい。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Merchandising	
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	抗議(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 15 回
担当教授	Barbara Borusiak
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	<p>この授業を受けて、商品陳列の起源やその概念、意義、および使用の前提条件について理解を深めることができた。</p> <p>具体的には、商品陳列の起源を特定し、「商品陳列」の概念を解釈し、商品陳列が商業企業の管理システムにおける重要性を明確にする内容であった。また、商品陳列の使用の理由や前提条件についても把握することができた。</p> <p>さらに、小売業者の商品陳列技術やプロデューサーの典型的な活動についてリストアップし、プラングラムとフロアプランの設計方法についても理解を深めた。</p> <p>商品陳列に関するスキルとして、企業の戦略に適した商品陳列ソリューションを作成し、プラングラムやフロアプランを設計する能力が必要とされた。また、小売業者の購買者の行動に関連する問題を特定し、終身学習の必要性を認識することができた。</p> <p>授業では、会話形式の講義やマルチメディアプレゼンテーション、ケーススタディ、ラボなど、様々な教育方法を用いての授業内容であった。</p> <p>最終的な評価は、書面試験やオープンな質問を含む試験、クラス参加、個別プロジェクトなどによって行われ、この授業を通じて、小売業や生産企業における商品陳列の重要性と技術についての理解が深まり、将来のキャリアに役立つ知識とスキルを得ることができた。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Consumer behaviour – new trends and technologies	消費者行動論
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	抗議 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に90分が15回
担当教授	Tomasz Grzegorzcyk
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	<p>この授業を通じて、高度技術革新に対する消費者行動の決定要因や新技術が消費者行動に与える影響、現在および将来のトレンドなど、消費者行動を形成する要素について学習した。</p> <p>具体的には、消費者行動が経済や社会環境、そして技術の発展に与える影響を理解し、高度技術革新に関する消費者行動の幅広い知識を得た。また、高度技術革新の主要なツールや消費者行動研究の手法についても理解した。</p> <p>さらに、消費者行動を解釈し説明、高度技術革新に対する消費者行動を調査、社会経済的および消費者トレンドを特定し分析し、利用する能力を身につけた。</p> <p>また、倫理的かつ社会的責任を果たすことの重要性や、持続可能な技術開発の必要性、グループ内での共通の目標を達成する方法など、社会的な能力も向上させることができた。</p> <p>授業では、テキスト分析やプロジェクトメソッド、ブレインストーミング、会話形式の講義、マルチメディアプレゼンテーション、ディスカッション、ケーススタディ、e ラーニングなど、さまざまな教育方法を通じての学習であった。</p> <p>提供された参考文献や教材も役立ち、グループプロジェクトやプレゼンテーションなどの評価方法を通じて、学習成果を評価する機会も得られた。</p> <p>この授業を通じて、将来の消費者行動や技術の変化に対応し、個人および組織レベルでの意思決定に役立つ知識とスキルをより身につけていきたい。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International logistics II	物的流通論
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	6
本学での単位認定状況	4単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が15回
担当教授	Zbigniew Bentyn
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	<p>この授業を受けて、国際物流の発展における要因や国際ビジネスの役割と重要性についての広い観点での理解が深まりました。また、国際物流の経済効果や国際サプライチェーン内の関係を診断し分析するスキルも身につけ、グローバルな視野での物流の効率性や国際物流の定義やプロセスの解釈、モチベーションや利点に関する理解が向上させることができた</p> <p>この授業では、グループプロジェクトやグループワークを通じて、チームビルディングスキルやリーダーシップスキルの向上にも努め、他の文化や国際的な社会的多様性についての理解や尊重も深めることができました。</p> <p>総じて、この授業は国際物流の発展やビジネス上の意思決定に影響を与える要因を理解し、実践的なスキルを身につける上で非常に有益であったと感じている。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Organizational behaviour	経営組織論
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 分が 回
担当教授	Agnieszka Ignyś
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	<p>この授業を受けて、組織内での人材の重要性や行動に影響を与える要因について理解を深めることができた。</p> <p>具体的には、個人、グループ、組織の行動に関する知識を身につけ、組織内で人々の行動に影響を与える最も重要な要因を理解できた。また、内的要因と外的要因が組織内の従業員の行動とその効果にどのように影響するかについても理解を深めた。</p> <p>さらに、実生活の状況に存在する異なる要因を理解し、組織行動の範囲内で最良の解決策を見つける方法を学び、組織行動に関する知識源を容易に活用する能力も向上させることができた。</p> <p>個人の特性や態度、知覚、感情、学習、労働動機付け、ストレスや多様性、グループダイナミクス、リーダーシップ、コミュニケーション、紛争や交渉、組織文化、仕事設計、組織設計など、多岐にわたるテーマを学び、また授業では、テキスト分析、マルチメディアプレゼンテーション、ケーススタディ、e ラーニング方法など、様々な教育方法が用いられ、理解を深めることができた。</p> <p>この授業を通じて、組織内での人間の行動や相互作用に関する洞察を深め、将来のキャリアやリーダーシップの役割において活かしていきたい。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Strategic management	経営戦略論
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 15 回
担当教授	Maciej Brzozowski
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	<p>具体的には、戦略の種類を区別し、既存の状況に適切な戦略を選択する能力を身につけました。また、既存の戦略的管理の実践を改善し、戦略的プロジェクトやレポートの準備を行うスキルも発展させた。</p> <p>さらに、獲得した知識を批判的に評価し、生涯にわたって深めることや、成果を達成するための優先順位を定義し、タスクを実行する能力を身につけることができました。</p> <p>授業では、プロジェクトメソッド、マルチメディアプレゼンテーション、ディスカッション、ケーススタディなど、さまざまな教育方法が用いられました。そして、クラス参加やグループプロジェクト、プレゼンテーションなどを通じて成果を評価する機会が提供された。</p> <p>提供された参考文献や教材も役立ち、戦略的管理に関する理解を深めることができました。</p> <p>この授業を通じて、戦略の重要性や実践に関する洞察を得ることができ、将来のキャリアに役立つ貴重なスキルと知識を身につけることができました。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
E-business	E-ビジネス
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が15回
担当教授	Daniel Wilusz
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	<p>この授業を受けて、私は e ビジネスおよび e コマースの概念やそれらがビジネス成長に及ぼす重要性について理解を深めることができた。また、発展途上国と先進国の企業にとっての e コマースの主要なチャンネルやその価値を識別できた。</p> <p>さらに、e ビジネスにおける戦略の理解や、戦略的および運用上の課題の特定、e ビジネス実体の戦略の開発に関するスキルも磨くことも、また、e ビジネスの戦略の選択と適切なツールの使用、デジタルビジネスへの多様なアプローチの説明も実行した。</p> <p>チームワークスキルや批判的思考スキルの向上も授業の重要な成果であり、それぞれのスキルを磨く機会を得られたことに感謝している。</p> <p>総じて、この授業は e ビジネスと e コマースの重要な概念と実践について深く理解することができ、将来のビジネスキャリアに役立つ貴重な知識とスキルを身につけることができた。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Fundamentals of marketing	商業経営論 AB
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	5
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が15回
担当教授	Lukasz Matys
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	<p>この授業を通して、マーケティングの基礎から応用までの広範な知識を習得しました。特にグループプロジェクトでは、実際のマーケティング戦略を考え、チームでの協力やコミュニケーション能力が求められ、非常に実践的なスキルを磨くことができました。学んだ内容は将来のキャリアに大いに役立つと感じています。</p>

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

「global career com」海外留学経験や日本企業の中でも海外で働けるようなものをさまざまな分野を通じて紹介してくれるサービス。留学生×就活には持ってこいのおすすめのサイト。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

自動車業界、商社、コンサルを通じていくつか内定をいただいた

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

結論、しっかりと龍学をして就活も満遍なくしたいと考えている人は、一年休学する期間を設けることをお勧めします(三年から留学する人に向けて)。理由としてコロナの影響もあって、現在さまざまな企業が柔軟に対応してくれることが多いです。しかし、オンラインで内定をもらったところでそこに実際に就職したいのかを考えてみてください。このご時世、企業もそこまできびしくは見ていないので、1、2年の休学くらいは誤差だと思います。また、世界に視点を広げると、30代になってから大学に進む人、20代後半で学び直す人などザラにいますので、ルールに沿った人生を歩む必要はないです。自分の今したいことを、今しかできないことに注力することをお勧めします。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

今回の留学経験は、今後の進路選択に大きな影響を与えました。留学中、アルバイトができなかったため、どのようにお金を工面するか考えていた時期があります。この経験から、自分のスキルを使って小さなビジネスを始めようかと考えるに至りました。そして、最終的には留学で得た国際的な視野やマーケティングの知識を活かし、独立してビジネスを展開することに興味を持つようになりました。留学を通じて培ったスキルやネットワークを活用し、将来に向けて積極的に取り組む考えを持つようになりました。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	海外移住に興味を持ち休学してカナダ渡航する準備をする
	4月～7月	カナダでワーキングホリデー、しかし留学も経験したいと感じるようになる
	8月～9月	留学を見据え、IELTSの学習を始める
	10月～12月	試験を2回ほど受け、出願に向けての準備
留学開始年	1月～3月	今回の留学先に決定
	4月～7月	授業や寮などの関係で先方の大学と連絡を取り合う
	8月～9月	出発直前、荷物などの細かい準備に移る、ビザの準備
	10月～12月	留学一学期目、中間試験を終え、日本に一時帰国
留学/帰国年	1月～3月	秋学期の試験を終え、ヨーロッパ周遊の旅に出かける
	4月～7月	春学期の始まり、就活もしながら、期末を迎える、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

留学先を選んだ理由は「第一志望に落ちてしまった」が正直なところです。しかし、結果的にはとても良かったと感じられた留学でした。理由として主に二つ挙げられます。

一つ目に、ポーランドはヨーロッパのさまざまな留学生が集まってきており、多くの文化や国の事情などについて話すことができとても勉強になったからです。

二つ目に、物価が安いいため、それほどお金をか気なくても旅行などのアクティビティーに参加でき貴重な経験ができるからです。留学したいが、それほどお金をかけたくないという人にはお勧めの環境となっています。

交換留学という制度は一般的な留学と違い大学のサポートが手厚い留学で、費用もとても抑えられると考えます。学校に在籍しているうちにしかできない経験なので、これから留学を考えている方々には、ぜひ挑戦することを強くお勧めします。留学は視野を広げ、自己成長を遂げる貴重な機会です。新たな文化や価値観に触れ、人生においてかけがえのない経験を得ることができます。留学先での経験は、将来のキャリアや人生の方向性に大きな影響を与えるでしょう。迷っているなら、一步踏み出してみてください。

